

鹿児島森林管理署交渉（全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時：令和2年8月25日（火）17：15～18：15（60分）

2 場 所：鹿児島森林管理署 会議室

3 出席者：
鹿児島森林管理署 永山 正一 署長
同 久保田 修 次長
同 煤本 憲三 総括事務管理官

全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会
同 小島 洋一 執行委員長
同 藤川 晃久 副執行委員長
同 和田 弥己 副執行委員長
同 松本 慎剛 書記長
同 園田 泰夫 執行委員

4 交渉事項

- (1) 2021年度業務予定について
- (2) 組織・定員の確保及び空席ポストの解消について
- (3) その他
 - ・牧園森林事務所の早期移転について
 - ・旅費・超勤予算の確保について
 - ・管理者のリーダーシップについて

5 議事概要

(1) 2021年度業務予定について

組合) 2021年度の業務予定に当たっては①署として資源状況や職場の実行体制等を踏まえた収穫量、生産量、販売量とすること。②森林整備・森林吸収源対策等の推進に係る予算を確保すること。③非常勤職員予算、庁費、旅費等、共通費予算の確保と事業実行体制を確保すること。④主伐量の拡大については、伐採量のみ積み上げの検討に終わらせること無く、確実な更新を図るとともに、画一的なコスト低減を排し、適切な森林整備を進めるための事業運営経費を確保すること。

当局) 2021年度業務予定についても管理者としてリーダーシップを発揮し、資源量や要員規模を踏まえ計画・実行して参る所存である。
また、労働過多とならないよう要員や必要な予算については、上局へ上申して参りたい。

(2) 組織・定員の確保及び空席ポストの解消について

組合) 組織・定員については、慢性的な要員不足を解消すること。また、民有林との一層の連携強化、国有林野事業の現場管理機能が発揮できるものとする。特に主伐量の拡大により、収穫調査や再造林に係る業務等が増加している実態や、民国連携に係わり国有林の使命役割である地域林業への貢献が、要員不足により十分に果たされていない実態に鑑み、森林官等の配置や森林事務所1～2名配置に係る要員を確保すること。

当局) 空席ポストの解消は、機会ある毎に上局へ申し入れをしているが、年齢構成の状況などから厳しい状況にあると認識している。森林事務所については国有林野事業の現場末端として地元サービスなど重要なポストであると認識しており、非

常勤雇用や再任用の活用なども含め国有林の役割が十分果たせるよう引き続き空席ポストの解消について上局へ伝えていく。

組合) 空席ポスト解消については、一般職員が森林整備官等と同様の業務を担わされ労働過重となっていることや、民国連携等に係る重要なポストが空席となっていることから、課題解消に向けた対策や空席ポストの解消を図ること。また、民有林・国有林との連携が十分に果たせるよう、地域技術官の配置、人材育成等を図ること。

当局) 一般職員が森林整備官や治山技術官の業務を担い、大きな負担とならないよう研修や上司のしっかりとしたフォローなど目配り気配りをしながら、進めていきたい。
なお、国有林の使命が十分果たせるよう引き続き空席ポストの解消については上局へ伝えていく。

(3) その他

組合) 牧園森林事務所の移転について早期に進めること。また、事務所移転に当たっては、森林事務所の存在意義を踏まえ事務所に居住部を含めた新築となるよう要望する。

当局) 居住部併設での移転では財務局の理解が得られなかったと聞いているが、再度上局及び財務とも調整をしながら早期に移転できるよう取り組んで参りたい。

組合) 業務の進行に支障が出ないよう旅費及び超勤予算の確保について要望する。

当局) 業務に必要な旅費・超勤予算については、必要な予算を上局へ上申して参りたい。
ただし、超勤については、縮減させることが、重要と認識しており、業務の進捗状況を把握し、業務の効率化を図る等、超勤の縮減に努めて参りたい。さらに、業務の進捗状況の把握、業務の緊急性及び優先順位等を勘案し、事前命令の徹底を図るとともに、管理者間、グループ間の連携を図り、業務の実施状況及び見通しを踏まえ、一人の職員に負担がかからないよう、応援態勢等に努めて参りたい。

組合) 職場から不平不満が出ないよう管理者がリーダーシップを発揮されたい。

当局) 管理者として常に目配り、気配りを行い、不平不満が出ないよう率先して明るい職場づくりに取り組んで参りたい。